

信用リスク分析表

0222
株式会社リスク

平成 18年12月 現在

実効税率: 50.0% 法人
単位: 千円

信用評価

4

要注意

評価	配点	得点
定量評価	129	71
定性評価	71	60
合計	200	131

判定	評価	スコア	ポイント一覧	内 容
適 正	1	180 以上	リスク無し	安全性は最高水準で、財務内容も極めて優れていると判断される企業。融資先としてのリスクは最小限で、債務償還能力は最も良い。
	2	160 以上	ほとんどリスク無し	かなり優れていると判断される企業。返済の確実性は極めて高く、業況にも懸念がない。ただし、信用評価1より安全性はやや劣る。
	3	140 以上	リスク些少	貸出先としてはかなり魅力的で安定性も高い。元利払が滞る可能性は低いが、長期的に見ると安定性が低下する可能性がある。
要 注 意	4	100 以上	リスクはあるが良好水準	現時点での融資元金払の確実性は高いが、将来的には返済の確実性が低下するか、信用状況に懸念が生じる可能性がある。
	5	80 以上	リスクはあるが平均水準	当面の返済能力には不安がないが、信用評価4以上に環境の変化などにより将来において安全性が低下する恐れがある。
	6	50 以上	リスクはやや高いが許容範囲	当面の返済能力にはそれほど不安がないが、長期的に安全性を維持できるという確実性は低い。
危 険	7	40 以上	リスク高く徹底管理	すぐに債務不履行に陥るわけではないが、現時点ですでに返済の確実性が低く、安全性に欠ける。将来的にも安全性には懸念がある。
	8	30 以上	警戒先	すでに債務不履行にあるか、あるいは重大な危険性が認められる。企業内容はかなり悪化しており、経営が行き詰まる可能性が高い。
	9	20 以上	延滞先	債務不履行中でかつ解消のめどが立たない。貸出金の回収に重大な懸念が生じており、損失の発生が見込まれる。回収の難しい先。
	10	20 未満	事故先	不良債権化し、貸出金回収の見込みもなく、償却を要する。

定 量 評 価		結果値	配点	得点	5	10	15	20
安全性	自己資本比率	12.2	10	0				
	ギアリング比率	333.3	10	0				
	流動比率	233.2	7	7				
	経営安全率	22.4	7	7				
収益性	売上高経常利益率	5.0	5	5				
	総資本経常利益率	8.7	5	5				
	収益フロー	3	5	5				
成長性規模	売上高増加率	9.1	5	3				
	経常利益増加率	462.5	5	5				
	自己資本額	26,400	15	1				
返済能力	債務償還年数	3.6	20	14				
	インタレスト・カバレッジ・レシオ	6.1	15	15				
	キャッシュフロー額	24,330	20	4				
合 計			129	71				

*定量評価計算式

- 自己資本比率

$$\frac{\text{資本合計 [26,400]}}{\text{総資本 [215,800]}}$$
- ギアリング比率

$$\frac{\text{借入金および社債 [88,000]}}{\text{資本合計 [26,400]}}$$
- 流動比率

$$\frac{\text{流動資産合計 [116,600]}}{\text{流動負債合計 [50,000]}}$$
- 経営安全率

$$\frac{\text{売上高合計 [360,000]}}{\text{一損益分岐点売上高 [279,279]}}$$
- 売上高経常利益率

$$\frac{\text{経常利益 [18,000]}}{\text{売上高 [360,000]}}$$
- 総資本経常利益率

$$\frac{\text{経常利益 [18,000]}}{\text{平均総資本 [206,500]}}$$
- 売上高増加率

$$\frac{\text{売上高合計 [360,000]}}{\text{一前期売上高合計 [330,000]}}$$
- 経常利益増加率

$$\frac{\text{経常利益 [18,000]}}{\text{一前期経常利益 [3,200]}}$$
- 債務償還年数

$$\frac{\text{借入金および社債 [88,000]}}{\text{営業利益 [21,500] + 減価償却額 [2,830]}}$$
- インタレスト・カバレッジ・レシオ

$$\frac{\text{営業利益 [21,500] + 受取利息・配当金 []}}{\text{支払利息・割引料 [3,500]}}$$
- キャッシュフロー額

$$\text{営業利益 [21,500] + 減価償却額 [2,830]}$$

定 性 評 価	状態	配点	得点	5	10
業 暦	12年	5	3		
市場動向	成長期	10	10		
景気感応度	低い	3	3		
市場規模	1,000億円以上	4	3		
競合状態	独占・寡占	7	7		
経営者・経営状態	優良	10	10		
株 主	非上場・安定	5	1		
従業員のモラル	問題なし	3	3		
営業基盤	強固	10	8		
競争力	非常に高い	7	7		
シェア	高い	7	5		
合 計		71	60		